

競技かるた界のスターが一堂に集結！！

牛乳石鹼は『ちはやふる小倉山杯』に協賛します

牛乳石鹼共進社株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：宮崎悌二 以下、牛乳石鹼）は、一般社団法人全日本かるた協会（東京都文京区）が主催し、2月15日（日）に開催する「第7回 ちはやふる小倉山杯」に協賛いたします。



牛乳石鹼は、コーポレートメッセージ「ずっと変わらぬ やさしさを。」のもと、文化・教育分野でもさまざまな活動支援を行っています。その活動の一環として競技かるたが大切にする「互いを思いやる心」「礼節」の理念に深く共感し、『第7回 ちはやふる小倉山杯』に協賛いたします。

本大会は、競技かるたの最高峰である名人・クイーンをはじめとするトップ選手のみが出場できるハイレベルな戦いでありながら、実況・解説付きのパブリックビューイングや YouTube ライブ配信を通じて、初めて観戦する方でも楽しめる開かれた大会です。札が扱われる一瞬の緊張感や、選手同士が礼を尽くす所作など、競技かるたならではの魅力を広く伝えています。

さらに、大会優勝者への副賞として牛乳石鹼の人気商品を詰め合わせた特別セットを贈呈し選手の栄誉を称えるとともにその活躍を応援します。

これからも牛乳石鹼は、やさしさが人から人へ受け継がれていく文化や活動を支援し、未来につながる価値を社会とともに育んでまいります。

■大会概要

【大会名称】小倉百人一首競技かるた 第7回 ちはやふる小倉山杯

【日 時】2026年2月15日（日）10:00～

*大会の様子は、YouTubeにてライブ配信も予定しています。

【会 場】嵯峨嵐山文華館（京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11）

【主 催】一般社団法人全日本かるた協会

【共 催】公益財団法人小倉百人一首文化財団・一般社団法人ちはやふる基金

【大会 URL】<https://ogurayama.chihayafund.com/>

<観戦チケット販売>1月15日（木）10:00より販売開始

https://experiences.travel.rakuten.co.jp/experiences/39141?scid=we_txp_chihayafund-officialsite

■競技観戦方法

選手の息遣いが感じられる競技会場だけでなく、現役選手やレジェンド選手による実況・解説付きのパブリックビューイング会場が京都と東京に用意されています。パブリックビューイング会場ではルール説明や戦略などの解説付きで初心者の方にも競技かるたの魅力がわかりやすく観戦可能です。

【競技会場】嵯峨嵐山文華館 2階

【パブリックビューイング会場】

(京都会場) 京都・嵐山 ご清遊の宿 らんざん 2階「桂川の間」

〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 33 (嵯峨嵐山文華館向かい)

(東京会場) アカデミー茗台 8階 レクリエーションホールA

〒112-0003 東京都文京区春日2丁目9番5号

■大会出場選手



川瀬 将義

(かわせ まさよし)

所属：三島せせらぎ会

<称号>

第72期名人位



自見 壮二朗

(じみ そうじろう)

所属：九州大学かるた会

<称号>

第72期準名人位



桑原 圭太郎

(くめはら けいたろう)

所属：京都小倉かるた会

<実績>

第40回全国選抜覇者



嵐田 光洋

(いわた みつひろ)

所属：慶應かるた会

<実績>

年間優勝5回



矢島 聖蘭

(やじま せいら)

所属：慶應かるた大会

<称号>

第70期クイーン位



西牧 美渚

(にしまき みいな)

所属：慶應かるた会

<称号>

第70期準クイーン位



都丸 鈴

(とまる りん)

所属：前橋かるた会

<実績>

第57回全国女流選手権優勝



原 あかり

(はら あかり)

所属：大津あきのた会

<実績>

年間優勝4回

※表記の称号・実績は今大会の出場権を得たものです。

【参考】『ちはやふる小倉山杯』概要

『ちはやふる小倉山杯』は、競技かるたの最高位である名人・クイーンをはじめ、タイトル戦優勝者や年間成績上位者など、男女各4名・計8名のみが出場できる、トップレベルの大会です。

競技かるたの「見る楽しさ」を多くの人に届けることを目的に、2020年より継続開催されています。

トップ選手による真剣勝負を、会場観戦はもちろん、現役選手やレジェンド選手による実況・解説付きのパブリックビューイング（京都・東京）やYouTubeライブ配信でも楽しめる点が特徴です。

■牛乳石鹼共進社株式会社

1909年（明治42年）の創業以来、「美と清潔 そして健康づくりに役立つ」製品を提供してきました。企業理念の「ずっと変わらぬ やしさを。」のもと、お客様の肌に、こころに、そして環境にもやさしい「ものづくり」に取り組んでいます。弊社は創業116年の会社になりますが、昔から受け継ぐ品質第一主義は守りつつ、時代の流れを取り入れることで、これからもお客様の求めに即応していきます。近年ではボディケア、フェイスケア、ヘアケアと幅広い製品開発によって時代のニーズを柔軟に取り入れ、赤箱・青箱をはじめとした「カウブランド」に加えて新ブランドを生み出しています。

<https://www.cow-soap.co.jp/>